

2020年6月17日

2020年7月3日（金）「HANEDA INNOVATION CITY」オープンに合わせ 天空橋駅に施設直結の改札口「HICity口」を新設します

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）は，羽田みらい開発株式会社と連携し，京急空港線「天空橋」駅直結の大規模複合施設「HANEDA INNOVATION CITY」（略称：HICity（エイチ・アイ・シティ）以下，HICity）の2020年7月3日（金）まち開きに合わせ，同日から，**天空橋駅に施設直結の「HICity口」改札を新設**します。

京急空港線「天空橋」駅は羽田空港第3ターミナル駅から1駅と羽田空港にほど近い場所に位置しております。HICityは，「先端」と「文化」の2つをコア産業とするまちで，世界をリードする国際産業拠点としてモビリティ，健康医療，ロボティクスなどに関する「先端」産業を核とした企業を集積し，食，音楽，観光などに関する多彩な日本「文化」を発信する，空港近接の大規模複合施設です。

そのHICityへのアクセス向上のため，施設内のメイン導線であるイノベーションコリドーにアプローチしやすいステーションコア地下1階に直結の改札口を新設いたします。また，副駅名称として「羽田イノベーションシティ／HANEDA INNOVATION CITY」を掲出いたします。

さらに，HICity内に「京急EXイン 羽田イノベーションシティ」の開業も予定しており，羽田空港至近の立地を活かし，空港利用者のみならず，日本全国また海外から併設される会議研究施設を訪れる方々等，さまざまな宿泊需要にも対応してまいります。

京急電鉄では今後も，羽田空港を事業の重要な基盤とし，交通アクセスの利便性向上に加え，周辺エリアにおいても，さまざまな開発を進めることで，沿線の活性化と当社グループの羽田における事業基盤の強化を推進しております。

詳細は別紙のとおりです。



「HANEDA INNOVATION CITY」外観イメージ



新改札イメージパース

別紙

『天空橋駅「直結改札口の新設」および「副駅名称の設定」』について

1. 改札口の新設

供用開始日時 2020年7月3日（金）始発

改札口名 「HICity口」

2. 副駅名称の設定

設定日 2020年6月25日（木）～

設定副駅名称 「羽田イノベーションシティ／
HANEDA INNOVATION CITY」

設置場所 天空橋駅ホーム内駅看板



「HICity口」

HICity 館内図

以上

参考

1. 「HANEDA INNOVATION CITY」について

(1) 事業主体：羽田みらい開発株式会社

[出資企業 9社]

鹿島建設株式会社, 大和ハウス工業株式会社, 京浜急行電鉄株式会社,

日本空港ビルデング株式会社, 空港施設株式会社, 東日本旅客鉄道株式会社

東京モノレール株式会社, 野村不動産パートナーズ株式会社, 富士フィルム株式会社

(2) 敷地面積：約 5.9ha

(3) 延床面積：約 131,000 m²

(4) 主要用途：先端モビリティセンター，先端医療研究センター，
研究開発拠点，区施策活用スペース，
会議研修センター（カンファレンスルーム・滞在施設），
ライブホール，文化体験商業施設，
アート&テクノロジーセンター，水素ステーションなど



アクセスマップ

2. 「京急EXイン 羽田イノベーションシティ」について

(1) 名称：京急EXイン 羽田イノベーションシティ

(2) 運営会社：株式会社京急イーエックスイン（本社：横浜市西区，社長：四宮 浩）

(3) 所在地：東京都大田区羽田空港一丁目1番4号

(4) アクセス：「天空橋駅」直結

※羽田空港（第1・第2・第3ターミナル）⇄ホテル 無料シャトルバス運行予定

(5) 延床面積：7,700 m²

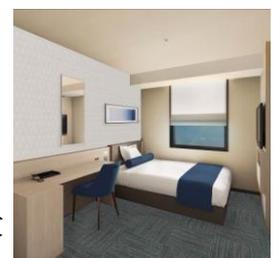
(6) 開業：2020年秋ごろ（予定）

※2020年夏の開業を予定しておりましたが，新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い，開業を延期しております。

(7) 客室数：259室

（セミダブル217室，ダブル18室，ツイン・トリプル・ユニバーサル計24室）

(8) 館内設備：大浴場（宿泊者のみ利用可）



客室イメージ



大浴場イメージ